

大阪市技術向上運動 中間報告

大阪市技師

日笠育夫

一、振興週に就て

自昭和12年11月15日
至同 11月21日

「大阪市技術向上運動」は技術水準の向上に依つて、非常時局を克服しやうと謂ふ積極的な運動であつて、全国的の國民精神總動員運動の最も具體的實踐的な表現の一であり、且つは大阪市傳統の事業第一主義の擴充と強化に依つて銃後産業都の護りを固くせんとする運動である。

昭和12年10月26日、本市事務改善委員會に於て本運動が可決されて以來、これが實施に對する準備は夜を日についで續けられた。

ポスター、實施要綱趣意書はもとより、紀念繪葉書、スタンプをも製作して、その趣旨の普及徹底に全力を注ぎ、幾多の技術向上標語をポスターに印刷して各事業部課はもとより各工事現場にことごとく配布したが、主なる標語を挙げれば左の通りである。

はかどる工事に市民の笑顔

技術で伸ばせ大阪市

現場の協力、捗る工事

打ちこめ真心、この工事

11月15日午前9時由緒深き明治天皇紀念館に、各技術關係職員六百有餘名集合嚴かに大阪市技術振興職員大會を開催し、市長の非常時局に對する切烈なる訓示を受け、職員一同固き決議と宣誓ををなし、こゝに本運動の烽火が力強くあがつたのである。

振興週間の實施目標とする所は、謂ふ迄もなく現場第一線を目標としてゐる運動であつ

て、現場に於ける士氣の振作はもとより、規律、激勸、整理、節約、現場改善に主力を注ぎ、更に現場の緊張とその精神的中樞ならしむる爲現場標識旗を制定した。即ち現在本市各現場に翩翩として翻つてゐる青赤二色の小旗はこの旗である。

當時大阪市に於て、工事中の現場は、222現場（工費3,000圓以下を除く）あり、之に各營業所、出張所を數ふる時は優に500以上に上るのである。本週間の実績は、各現場より実績報告書によつて報告せられ、目下詳細に調査中であるが、各現場員が一致協力して本運動の趣旨を體し、涙ぐましまでの努力をなしたことは充分看取され得る。

一、向上運動に就て

自昭和12年11月21日
至同 13年4月上旬

振興週間は本運動の口火であつたが、燃えさかる技術報國の精神はやがて本運動をして永久的に成果あらしめんとの念慮が、澎湃として技術職員間に起り、こゝに力強い専門技術の研究を目的とする細胞組織が結成された。即ち本市技術關係職員は職制を超越して各々の専門部門に分ち、一つの學會的な組織を作り、より深き技能の研鑽、鍛練と各技術者間の横斷聯絡に依る協力協調を昂揚し、以て本市傳統の事業第一主義を強調し、非常時局の對應に邁進する目的のもとに強大なる一つの研究組織が結成されたのである。

この組織は土木、建築、電氣、機械及技術關係事務の五科會に全技術關係職員を分屬せ

しめたものであるが、これこそ本運動の核心とも謂ふべきものであつて、此の科會の活躍こそ將來大阪市の技術向上と、各事業促進上劃期的躍進に資すること大なるべく、延いては國民精神總動員の實踐的表現とも謂ふべきものである。

各科會の實施すべき具體案は、目下各科會主幹のもとに鋭意攻中であるが、その主なるものを擧ぐれば次の如くである。

「土木科會」(會員數1,146)

コンクリート調査委會、仕様書統一委員會、砂利、砂及カソリン供給方法調査委員會、地質並に地盤移動調査委員會

都市計畫分會

區劃整理施行地區に於ける街路計畫

道路分會

雨水孔に關する調査委員會

橋梁分會

電氣熔接に關する研究、橋梁の塗裝に就て

港灣分會

軟弱地盤上の埋立に伴ふ地層の壓密沈下に關する研究、大阪港に於ける風浪及「うねり」の觀測並に研究、米材並に鋼材を極力節し得る岸壁及防波堤の新断面研究、鐵材は總て「ハイテンションスチール」を使用することゝし繼手は全部「ウエルデング」を採用することの研究

河川分會

河川淨化に關する件

上水道分會

鐵管繼手に於ける鉛の代用品、波濺池の經濟的構造研究、急速濾池の洗滌裝置の研究、配水管洗滌方法の研究、鐵管代用管の研究

下水道分會

工場排水調査委員會、下水道計畫の統制に關する調査委員會

軌道分會

輸入溝型軌條使用廢止に關する研究、「マンガン鋼」特殊軌條の代用品に關する研究、軌條の熔接並特殊軌條の肉盛に關する研究、交叉點及岐點の軌道構造統制に關する研究

高速分會

「コンクリート」防水の調査、事故發生の場合に於ける應急措置指導書の作成、現場手帳の作成

「建築科會」(會員數541)

建築展覽會開催、市美術館建築室に於て3月3日より6日まで開催の豫定、建築事務能率増進に關する研究、建築高級構造法の講習會、仕様書、明細書を中心とする設計者及監督者の座談會、各種指導書の作成

一般建築分會

建築維持、管理及び修繕方法の合理化の研究、建築測量の合理化の研究、仕様書、明細書合理化の研究

建築衛生分會

本市廳舎建築の衛生方面の調査改良案、小學校建築の温氣筒による簡易煖房法を實施時の吟味、建築物の採光、通風に關する研究、建築物の音響防止に關する研究、燃料節約を目標とせる煖房方法の再検討

意匠分會

防水材料の比較研究、木材の規格に關する調査、防空的見地より建築物の色彩の研究、防空遮蔽裝置の研究、防護室の研究

構造分會

鐵筋、鐵骨、「セメント」其の他材料支給に關する研究、構造計算用圖表の作成、鐵筋及鐵骨の節約に關する研究、木造建築新構法の研究、對彈建築の研究

かくて大阪市技術向上運動は國民精神總動員運動と相俟つて、あらゆる方面にその顯著なる實績を擧げつゝある。即ち上司と部下との融和、協調はもとより戰時體制下に於ける本市設計計畫並に工事に對する眞劍なる再検討、工事材料の節約対策等、精神的、物質的、いづれの方面にも多大の効果を擧げつゝあり時偶々内閣情報部長横溝光暉氏の現地狀況視察ありて本運動の熱意は益々高まると共に各技術科會の活躍はさらにその純技術的の成果により大なる輝きを添えるであらう。

又技術の進歩向上の爲に新工法、新研究並に改善案を募集したが、現在118件の應募があり土木關係では(1)クローム土壓論の簡易解法と裏込材の土壓に及ぼす影響(2)軌道面鋪裝試案(3)小野式地下鐵隧道工事に就て、建築關係では(1)換氣窓の新研究(2)木造建築の耐火(3)市電塗裝の更生等がある。